

舞鶴港

京都府港湾局

〒624-0945 京都府舞鶴市字喜多1105-1

舞鶴21ビル7階

☎0773-75-0192

URL: <http://www.pref.kyoto.jp/port/index.html>

1. 概況

〈近畿経済圏北部の玄関港として〉

〈沿革〉

舞鶴港は、天然の良港として、旧幕府時代よりすでに日本海における内外貿易港として栄えてきた。明治34年、舞鶴鎮守府が開庁されて以来、東港は軍港として、西港は京阪神の日本海側沿岸諸港を対象とする商港・漁港として発展を遂げてきた。戦後13年にわたり60万人以上が帰還した「引揚げ港」として全国的にその名を知られたが、昭和26年重要港湾に指定され、昭和28年京都府が港湾管理者となった。昭和55年度から第4埠頭の再整備、前島埠頭の建設等本格的な埠頭建設に着手し、平成5年には、前島埠頭の全施設が完成した。また、平成元年に第2埠頭に多目的クレーンを設置し、コンテナ取扱港となり、平成3年からコンテナ航路が就航した。さらに、平成7年には喜多埠頭の埠頭用地が完成した。平成22年4月には、平成元年から着手していた5万トン級の大型貨物船が接岸可能な-14m水深を有する多目的国際ターミナル「舞鶴国際埠頭-みずなぎ埠頭」を供用開始し、コンテナ荷役を国際埠頭に集約した。平成23年11月には、日本海側拠点港として、「国際海上コンテナ」、「国際フェリー・RORO船」及び「外航クルーズ」の各拠点に選定された。

〈地勢〉

舞鶴港は、京都府北部、若狭湾の西寄りに位置し、リアス式海岸が深く湾入し、東西約9km、面積25km²、平均水深20mの海域である。湾口の狭さく部は、わずか700mで、冬期の波浪による港湾機能の障害もほとんどない自然条件に恵まれた良港である。

〈国際貿易港へと発展〉

〈市勢〉

舞鶴市は舞鶴湾沿岸部のすべてを行政区域としているが、城下町として発展した西舞鶴と漁村から軍港への転換を契機として発達した東舞鶴港とからなっている。市人口は83,990人（平成27年国勢調査）、市財政規模は348億円（令和2年度当初一般会計）である。

立地企業としては、ジャパンマリンユナイテッド、日本板硝子、日之出化学工業、ケンコーマヨネーズなどが主なものとなっている。広域 道路網は舞鶴若狭自動車道が中国自動車道吉川JCから西舞鶴ICまでが平成3年3月に開通し、阪神圏から1時間半程度の所要時間となり、平成26年7月には敦



賀ICまで全線開通した。また、平成27年7月には、京都府北部地域と南部地域を結ぶ京都縦貫自動車道が全線開通し、京都市内からの所要時間が短縮されるなど、舞鶴市への交通アクセスが飛躍的に向上した。

〈特徴〉

舞鶴港は、戦前、大陸及び日本海沿岸諸港との交易を主として発展してきたが、戦後の混乱期を過ぎた後は、臨海工業の原材料輸移入のほか、原木輸入が大部分を占めるようになった。

内貿については、平成16年7月に舞鶴・小樽間を20時間で結ぶ大型高速フェリーが就航しており、内貿貨物の81.2%を占めている（令和元年）。外貿については、コンテナ航路として、中国航路が週1便、韓国航路が週2便、韓国、中国航路が週1便就航しており、京阪神から最も近い対岸貿易の日本海側における拠点港として期待され、令和元年のコンテナ取扱量は、過去最高の19,812TEU（空コン込み）を記録した。なお、令和元年中における舞鶴港取扱貨物量は、1,186万トンであった。現在、舞鶴国際ふ頭においては、Ⅱ期整備に着手している。

また、近年は、内外航クルーズ客船の寄港も増え、平成29年には過去最高の39回寄港した。

〈国際的な経済・文化交流などの拠点を整備〉

〈港湾計画〉

平成23年に日本海側拠点港に選定されたことを踏まえ、「国際海上コンテナ」、「国際フェリー・RORO船」、「外航クルーズ」の3機能を充実させるため、港湾計画を平成25年12月に改訂し、以下の方針により整備を進めることとしている。

①西港地区は、対岸貿易を中心とした日本海側の拠点港として、主に舞鶴国際ふ頭において船舶の大型化・コンテナ化に対応できる外貿物流機能を中心とした港湾施設の拡充を図る。また、主に第2ふ頭において外航クルーズ船に対応した港湾施設の拡充を図る。

- ②東港地区は、前島ふ頭において国際フェリー・長距離フェリー等の貨物による物流機能を核とした港湾施設の整備拡充を図る。
- ③港湾施設を相互有機的に結合させるとともに、港湾貨物の迅速な輸送形態を確立するため、舞鶴狭自動車道舞鶴西ICや背後地区との連絡を図る臨港道路の整備拡充を促進する。
- ④快適で潤いのある港にするため、アメニティ豊かな住民の利用しやすい良好な港湾環境を整備する。

2. 港勢

入港船舶

種別	合計		30,000 総トン以上		10,000 総トン以上 30,000 総トン未満		6,000 総トン以上 10,000 総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	379	6,097,876	64	3,648,437	60	862,647	171	1,336,643
内航商船	468	932,950	1	50,142	1	26,594		
自 航	299	5,026,190			299	5,026,190		
そ の 他	3,037	1,243,919			1	11,000	45	310,355
合 計	4,183	13,300,935	65	3,698,579	361	5,926,431	216	1,646,998

種別	3,000 総トン以上 6,000 総トン未満		1,000 総トン以上 3,000 総トン未満		500 総トン以上 1,000 総トン未満		5 総トン以上 500 総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	31	143,784	53	106,365				
内航商船	143	641,891	14	39,430	57	52,789	252	122,104
自 航								
そ の 他	119	422,175	181	303,827	13	10,312	2,678	186,250
合 計	293	1,207,850	248	449,622	70	63,101	2,930	308,354

最大入港船舶のトン数 168,666 総トン（喫水 8.5 m）

海上出入貨物

項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	269,408	100.0	390	0.1	3,669	1.4	3,756	1.4	110,904	41.2
輸入	3,924,614	100.0	3,498	0.1	119,957	3.1	3,584,015	91.3	69,463	1.8
計	4,194,022	100.0	3,888	0.1	123,626	2.9	3,587,771	85.5	180,367	4.3
移出	3,259,694	100.0	833	0.0			101,609	3.1	2,651,545	81.3
移入	3,370,978	100.0	23,713	0.7	21,289	0.6	69,985	2.1	2,893,609	85.8
計	6,630,672	100.0	24,546	0.4	21,289	0.3	171,594	2.6	5,545,154	83.6
合計	10,824,694	100.0	28,434	0.3	144,915	1.3	3,759,365	34.7	5,725,521	52.9

項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	57,252	21.3	47,352	17.6	1,431	0.5	44,654	16.6		
輸入	54,498	1.4	14,470	0.4	55,791	1.4	22,888	0.6	34	0.0
計	111,750	2.7	61,822	1.5	57,222	1.4	67,542	1.6	34	0.0
移出	373,762	11.5	105,965	3.3	387	0.0	25,593	0.8		
移入	349,782	10.4	12,600	0.4						
計	723,544	10.9	118,565	1.8	387	0.0	25,593	0.4		
合計	835,294	7.7	180,387	1.7	57,609	0.5	93,135	0.9	34	0.0

太字は自動車航走船取扱貨物（外数）で、計及び合計に含まない

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出	111,665	5,704	3,738
輸入	153,219	7,622	1,559

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路	73,082	36,594	36,488
内国航路	76,120	38,200	37,920
計	149,202	74,794	74,408